

## 十島村・三島村学校環境衛生検査について

鹿児島市薬剤師会 学校保健委員会  
委員長 長野 慎治



新型十島フェリー

今年度も十島村と三島村の学校環境衛生検査が始まっております。今年は新型コロナウイルス感染症のため、訪問に際してのルールなど変更があり、準備の段階でも時間がかかってしまいましたが、順次進めてまいりますので、今までの進捗状況なども含めてご報告させていただきます。本年度は新たに2名の先生方が初めての訪問になり、緊張した面持ちで検査に参加して頂きました。日程は異なりましたが、検査に協力をいただいた方は以下の先生方です。



十島村地図 (十島村 HP より)



三島村地図 (三島村 HP より)

十島村の7島は、佐多先生（口之島担当）、新名主先生（中之島担当）、丸野先生（平島担当）、原先生（諏訪之瀬島担当）、町田先生（悪石島担当）、竹井先生（小宝島担当）、わたくし長野（宝島担当）が学校環境衛生検査および薬物乱用などの講話を実施していきます。また、三島村の4島は、日高先生（竹島担当）、原先生（硫黄島担当）、西川（大里担当）、長野（片泊担当）で実施します。

本年度は新型コロナウイルス感染症対策として、島へ行く2週間前からの体温を計測し、体調管理票を作成しなければなりません。2週間前からは県外の旅行、出張も原則できなくなっています。また、乗船券も予約制になっており、乗船の人数制限を設けています。学校では、密を避けるために、給食は食堂を使用していましたが、現在は各教室で食べており、今年の給食は残念ながらいただけませんでした。講話も体育館など広い場所で行い、役場、学校が一体となってコロナ対策をしっかりと行っていました。





宝島港の風景

2020 09 15

そのような状況の中で行いました、離島の環境衛生検査の活動内容を少しだけ紹介させていただきます。十島村にはフェリーで移動します。23時に鹿児島港を出港し、約6時間かけて初めは口之島に、つづいて中之島に、最後の宝島には鹿児島を出航12時間後の午前11時に入港します。それぞれ1名担当者が入島し、そこから学校薬剤師の活動が始まります。

学校環境衛生検査では時間に限りがあり、また、島のフェリーの時間によって活動時間にかなり差がでるものの、検査内容はほぼ鹿児島市内で行われている学校薬剤師活動と同じです。その内容を5時間程度ですべて終わらせしてしまう、短期集中の学校薬剤師活動です。一方、三島村は9:30に出航し、竹島港に12:30に入港、硫黄島港に13:25に入港、大里港に14:50。最後の片泊港へは15:35に入港します。15:35からでは講話などはできないので、片泊学園では、大里から車で連れて行くように手配をいたします。三島村の学園は十島村よりも時間が短くなりますが、一部プール水やダニの検査なども行います。

検査内容は「照度測定」、「給食室の衛生検査」、「飲料水の水質」、「施設の安全性」を基本に実施しております。講話では生徒数が少ないので、小学生は低学年と高学年に分けたり、または全学年まとめたりと、「たばこ・お酒・薬物乱用」を児童の構成年齢に合わせて実施します。また、中学生も1年から3年まとめて「薬物乱用」や「血液教育」とほぼマンツーマン授業を実施していきます。さらに、学校が終わった後も宿に向かわず、診療所を訪問し、「薬の飲み方」のパンフレットを配布しております。夜には社会学級として、地域住民への「お薬勉強会」など地域啓蒙活動を行っています。

今年もすでに数回の訪問が、台風や高波で延期になっております。何回も日程を調整し直して、実施に向け活動されている先生方に感謝いたします。おかげさまで、この離島訪問は市薬の事業として10年以上になりました。

今後コロナの影響が続くと思いますが、離島の学校環境衛生検査にこれからも務めていきたいと思っております。

今後コロナの影響が続くと思いますが、離島の学校環境衛生検査にこれからも務めていきたいと思っております。



薬物乱用教室の授業風景

2020 09 15



社会人向け生涯学習風景

2020 09 15